

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	身近な道路環境の整備	電話番号	087-839-2516	
	基本事業	生活道路の整備・充実	事業実施主体	市	
	事務事業	道路整備事業（建設計画等登載路線）	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	建設計画に位置付けられている市道下川原北線を始めとする2車線以上の道路（ ）等について、将来交通量を推計し、道路の規格などの見直しを行う中で、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境の創出を図る。（ ）1下川原北線 2中坪寺井線 3城渡吉光線				
6年度概要	下川原北線				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の種類	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：建設計画に位置付けられている2車線以上の道路 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	建設計画登載の2車線道路を整備することにより、道路利用者の利便性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
単年度整備延長	m	264	87	0	0	0

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
道路整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	95	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 下川原北線及び城渡吉光線を供用開始できたことから、目標を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	285,002	46,008	16,316	61,432
（事業費）	[千円]	245,742	35,530	7,284	52,400
（職員人件費）	[千円]	39,260	10,478	9,032	9,032

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

下川原北線及び城渡吉光線においては、令和4年7月に供用開始した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

下川原北線及び城渡吉光線においては、本線部は令和4年7月に全線供用開始したが、附帯工事（自転車道復旧）が残っており、工事範囲が河川内に及び、河川管理者との協議調整に期間を要していることから、今後とも協議を進め、早期の完成を図る。
--

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	道路整備課
	施策	身近な道路環境の整備	電話番号	087-839-2516	
	基本事業	生活道路の整備・充実	事業実施主体	市	
	事務事業	道路新設改良事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	市内に存する800kmを超える幅員4m未満の市道について、地域住民の利便性の向上や安全で安心できる道路環境を創出するため、地域バランスに配慮しながら、4m以上の拡幅整備等を行う。				
6年度概要	市単独新設改良事業（県費補助事業を含む） 道路新設改良国庫補助事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：市が管理する道路で主に幅員4.0m未満であり一定の要件を満たした整備要望のある路線 対象者：道路利用者
意図（どのような状態にしたいか）	道路利用者の利便性の向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
工事施工路線数	路線	19	32	20	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標	幅員4m以上の市道整備率	%	目標値	66.1	66.3	66.5	66.7	66.5
	実績値	65.7	65.7	65.9				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 20路線の道路整備を行ったが、新たな市道認定等により、市道認定の延長が増加したことから、整備率はほぼ横ばいとなり、目標を達成できなかった。 (目標達成度)	<p>(達成度) 99.1% 34点</p>						
	成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	<p>(達成度)</p>					

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	586,929	708,022	569,668	590,158
（事業費）	[千円]	552,199	642,163	503,430	523,920
（職員人件費）	[千円]	34,730	65,859	66,238	66,238

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

生活道路整備事業において、短期採択路線・旧要望路線について整備を進めたほか、地元協議を進め、中・長期採択路線を含む複数路線について、当該路線毎の整備方針が決まったことから、継続的に事業の更なる推進を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民ニーズに応えながら、地域バランスも考慮し投資効果の向上、コンパクトエコシティの推進等を目的として、この趣旨の下、改正を行った「高松市生活道路整備審議会運営要領」に基づき整備の必要度を評価し、生活道路整備審議会の答申を踏まえ、円滑な事業の推進を図っていく。